

プロフィール



あわつじ そう し き
栗辻 聡 (指揮)

2015年、第6回ロプロ・フォン・マタチチ国際指揮者コンクールで第2位。京都市立芸術大学、グラーツ芸術大学大学院、チューリッヒ芸術大学大学院をそれぞれ首席で卒業。これまでに、ザグレブ・フィル、マケドニア・フィル、日本フィル、新日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、セントラル愛知響、大阪フィル、日本センチュリー響、大阪響、関西フィル、兵庫芸術文化センター管、山形響、広島響、九州響、オーケストラ・ジャパン等を指揮。オペラでは、『ラ・ボエーム』、『アドリアーナ・ルクヴール』、『夕鶴』等を指揮し好評を博す。現在、奈良フィルハーモニー管弦楽団正指揮者、奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師、大阪音楽大学講師。



おおかわ ひろし
大川 博 (バリトン・司会)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了(優秀賞)。さわかみオペラ芸術振興財団の助成によりイタリア・トリエステに留学。2017年トリエステ・ヴェルディ劇場シーズンプログラムコンサートに出演、その後同劇場『エフゲニー・オネーギン』中隊長でイタリアでのオペラ・デビュー。国内では2018年『ジャンニ・スキッキ』にて東京二期会デビュー以降、同『サロメ』、『蝶々夫人』に出演、2019年には『天国と地獄』でジュピターを演じた。コンサートでは『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』等のソリストを務める。2021年4月より文化庁新進芸術家海外研修員として再び渡伊。二期会会員。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)



“名フィル”の愛称で親しまれている、東海地方を代表するプロ・オーケストラ。1966年の楽団結成以来、愛知県名古屋市を中心に演奏活動が続けている。これまでに4回の海外ツアーを行い、ウィーン・フィルのメンバーとの共演も重なるなど、国際的な活動も実施。2016年からは日本を代表する指揮者である小泉和裕が音楽監督を務めており、正指揮者の川瀬賢太郎らとともに、現在はバラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演しているほか、YouTube等による積極的な動画配信も行っている。

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れい わ ねん ど
令和4年度

文化芸術による 子供育成推進事業 —巡回公演事業—



名古屋フィルハーモニー交響楽団 《オーケストラ公演》

文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

オーケストラと歌でめぐる、日本とスペイン

伝統ある日本の音楽で幕開け

外山雄三：管弦楽のためのラプソディより「八木節」

外山雄三は1981年から1987年まで名古屋フィルの音楽総監督兼常任指揮者を務めている、日本を代表する指揮者のひとりです。作曲家としても有名で、「管弦楽のためのラプソディ」は1960年のNHK交響楽団世界ツアーのために作曲されました。日本古来の民謡を引用したこの作品から、本日は拍子木が効果的に使用される「八木節」を演奏します。



オーケストラの楽器を日本の名曲にのせて紹介

カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』

舞台をご覧のとおり、オーケストラではたくさんの楽器が使われています。ワークショップでもいくつかの楽器を紹介しましたが、改めてオーケストラのありとあらゆる楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディーに乗せて、メドレー形式で紹介します。ナレーションと合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。



バリトン歌手の歌声で聴く日本の唱歌

成田為三 [岩本渡編]：浜辺の歌

1913年、歌人の林古溪が雑誌『音楽』に発表した歌詞（当時は「はまべ」という題名でした）に、ドイツ帰りの山田耕筰に作曲を学んでいた成田為三が曲を付けたものが、「浜辺の歌」です。楽譜が出版されるとたちまち話題となり、現在でも音楽の教科書に掲載されています。日本人の心に染み入るような旋律を、本日はバリトン独唱でお聴きください。



浜辺の歌 作詞：林古溪

- あした浜辺をさまよえば 昔のことぞしのぼる 風のおよよ雲のさまよ 寄する波も貝の色も
- ゆうべ浜辺をもとおれば 昔の人ぞしのぼる 寄する波よ返す波よ 月の色も星の影も

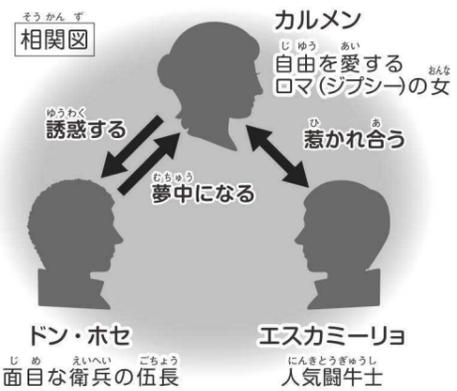
豪華オーケストラ伴奏で歌をうたおう

皆さんが選んだ1曲でオーケストラと共演



あなたもオーケストラの指揮者に&ナレーション付きで楽しむオペラ ビゼー：歌劇『カルメン』より

フランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーの代表作である歌劇（オペラ）『カルメン』は、スペインの都市セビリヤを舞台に、カルメンという名前の女性をめぐる恋のお話が歌と音楽で描かれた作品です。全4幕からなるオペラは数え切れないほどの名曲で彩られていますが、本日はバリトン歌手による闘牛士エスカミーリョの独唱を交えながら、次の6曲を演奏します。



闘牛士 (第1幕前奏曲)

物語は勇ましく闘牛士たちが登場するにぎやかな行進曲で始まり、途中には情熱的な闘牛士の歌が高らかに演奏されます。本日はおなじみのこの曲で、オーケストラの指揮者を体験していただきます。

衛兵の交代 (第1幕)

トランペットの号令が鳴り響くと、主人公の一人である衛兵ドン・ホセたちが行進してやってきます。その後ろを子供たちが「歩調を乱すな!」「胸を張れ!」と衛兵の真似をして歌いながらついてくる場面です。

ハバネラ (第1幕)

ドン・ホセを誘惑する場面で、カルメンが歌うのがこの曲です。チェロが弾く独特なリズムの伴奏に乗せて、ヴァイオリンが恋の気まぐれを歌います。



アラゴネーズ (第4幕間奏曲)

スペインのアラゴン地方の踊りの音楽です。打楽器のリズムに乗って、もの悲しいオーボエの旋律が続きます。ワークショップでも練習した、ボディ・パーカッションでオーケストラと共演しましょう。

闘牛士の歌 (第2幕)

闘牛士エスカミーリョが酒場で歌う勇ましいアリア（独唱曲）です。闘牛の生々しい描写と、闘い終えた後には恋が待っている!と期待を歌います。本日はバリトン歌手の独唱で、オペラの名場面を再現します。

ジプシーの踊り (第2幕)

酒場でカルメンが、ロマ(ジプシー)の仲間たちと歌い、踊る音楽です。2本のフルートによってひそやかに始まるメロディーが、次第にテンポを上げて盛り上がり、情熱的なクライマックスを迎えます。

ワークショップを覚えているかな?

オーケストラを構成する楽器たち

弦楽器



木管楽器



金管楽器



打楽器



プロフィール



栗辻 聡 (指揮)

2015年、第6回ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位。京都市立芸術大学、グラーツ芸術大学大学院、チューリッヒ芸術大学大学院をそれぞれ首席で卒業。これまでに、ザグレブ・フィル、マケドニア・フィル、日本フィル、新日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、セントラル愛知響、大阪フィル、日本センチュリー響、大阪響、関西フィル、兵庫芸術文化センター管、山形響、広島響、九州響、オーケストラ・ジャパン等を指揮。オペラでは、『ラ・ボエーム』、『アドリアーナ・ルクヴール』、『夕鶴』等を指揮し好評を博す。現在、奈良フィルハーモニー管弦楽団正指揮者、奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師、大阪音楽大学講師。



大川 博 (バリトン・司会)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研究所修了(優秀賞)。さわかみオペラ芸術振興財団の助成によりイタリア・トリエステに留学。2017年トリエステ・ヴェルディ劇場シーズンプログラムコンサートに出演、その後同劇場『エフゲニー・オネーギン』中隊長でイタリアでのオペラデビュー。国内では2018年『ジャンニ・スキッキ』にて東京二期会デビュー以降、同『サロメ』、『蝶々夫人』に出演、2019年には『天国と地獄』でジュピターを演じた。コンサートでは『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』等のソリストを務める。2021年4月より文化庁新進芸術家海外研修員として再び渡伊。二期会会員。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)



“名フィル”の愛称で親しまれている、東海地方を代表するプロ・オーケストラ。1966年の楽団結成以来、愛知県名古屋市を中心に演奏活動が続いている。これまでに4回の海外ツアーを行い、ウィーン・フィルのメンバーとの共演も重なるなど、国際的な活動も実施。2016年からは日本を代表する指揮者である小泉和裕が音楽監督を務めており、正指揮者の川瀬賢太郎らとともに、現在はバラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演しているほか、YouTube等による積極的な動画配信も行っている。

知っていますか?

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和4年度

文化芸術による 子供育成推進事業

—巡回公演事業—



名古屋フィルハーモニー交響楽団 《オーケストラ公演》

文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

オーケストラと歌でめぐる、日本とスペイン

伝統ある日本の音楽で幕開け

外山雄三：管弦楽のためのラプソディより「八木節」

外山雄三は1981年から1987年まで名古屋フィルの音楽総監督兼常任指揮者を務めている、日本を代表する指揮者のひとりです。作曲家としても有名で、「管弦楽のためのラプソディ」は1960年のNHK交響楽団世界ツアーのために作曲されました。日本古来の民謡を引用したこの作品から、本日は拍子木が効果的に使用される「八木節」を演奏します。



オーケストラの楽器を日本の名曲にのせて紹介

カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」

舞台をご覧のとおり、オーケストラではたくさんの楽器が使われています。ワークショップでもいくつかの楽器を紹介しましたが、改めてオーケストラのありとあらゆる楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディーに乗せて、メドレー形式で紹介します。ナレーションと合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。



バリトン歌手の歌声で聴く日本の唱歌

成田為三 [岩本渡編]：浜辺の歌

1913年、歌人の林古溪が雑誌『音楽』に発表した歌詞(当時は「はまべ」という題名でした)に、ドイツ帰りの山田耕筰に作曲を学んでいた成田為三が曲を付けたものが、「浜辺の歌」です。楽譜が出版されるとたちまち話題となり、現在でも音楽の教科書に掲載されています。日本人の心に染み入るような旋律を、本日はバリトン独唱でお聴きください。



浜辺の歌 作詞：林古溪

- | | | | | |
|---|-------------|------------|-----------|-----------|
| 1 | あした浜辺をさまよえば | 昔のことぞしのぼるる | 風の音よ雲のさまよ | 寄する波も貝の色も |
| 2 | ゆうべ浜辺をもとおれば | 昔の人ぞしのぼるる | 寄する波よ返す波よ | 月の色も星の影も |

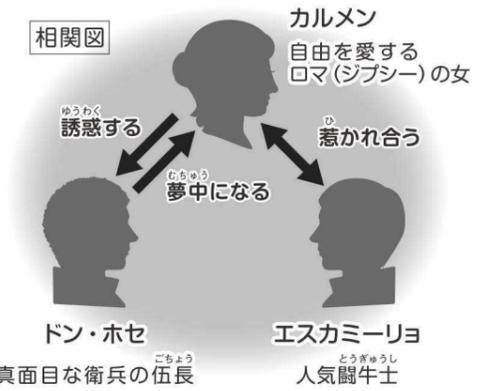
豪華オーケストラ伴奏で歌をうたおう

皆さんが選んだ1曲でオーケストラと共演



あなたもオーケストラの指揮者に&ナレーション付きで楽しむオペラ ビゼー：歌劇『カルメン』より

フランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーの代表作である歌劇(オペラ)『カルメン』は、スペインの都市セビリヤを舞台に、カルメンという名前の女性をめぐる恋のお話が歌と音楽で描かれた作品です。全4幕からなるオペラは数え切れないほどの名曲で彩られていますが、本日はバリトン歌手による闘牛士エスカミーリョの独唱を交えながら、次の6曲を演奏します。



闘牛士 (第1幕前奏曲)

物語は勇ましく闘牛士たちが登場するにぎやかな行進曲で始まり、途中には情熱的な闘牛士の歌が高らかに演奏されます。本日はおなじみのこの曲で、オーケストラの指揮者を体験していただきます。

衛兵の交代 (第1幕)

トランペットの号令が鳴り響くと、主人公の一人である衛兵ドン・ホセたちが行進してやってきます。その後ろを子供たちが「歩調を乱すな!」「胸を張れ!」と衛兵の真似をして歌いながらついてくる場面です。

ハバネラ (第1幕)

ドン・ホセを誘惑する場面で、カルメンが歌うのがこの曲です。チェロが弾く独特なリズムの伴奏に乗せて、ヴァイオリンが恋の気まぐれを歌います。



アラゴネーズ (第4幕間奏曲)

スペインのアラゴン地方の踊りの音楽です。打楽器のリズムに乗って、もの悲しいオーボエの旋律が続きます。ワークショップでも練習した、ボディ・パーカッションでオーケストラと共演しましょう。

闘牛士の歌 (第2幕)

闘牛士エスカミーリョが酒場で歌う勇ましいアリア(独唱曲)です。闘牛の生々しい描写と、闘い終えた後には恋が待っている!と期待を歌います。本日はバリトン歌手の独唱で、オペラの名場面を再現します。

ジプシーの踊り (第2幕)

酒場でカルメンが、ロマ(ジプシー)の仲間たちと歌い、踊る音楽です。2本のフルートによってひそやかに始まるメロディーが、次第にテンポを上げて盛り上がり、情熱的なクライマックスを迎えます。

ワークショップを覚えているかな?

オーケストラを構成する楽器たち

弦楽器



木管楽器



金管楽器



打楽器

